



新幹線糸魚川駅 駅舎デザイン案を選定

このほど市が選定した新幹線糸魚川駅のデザイン案（駅の南東部から見たイメージ）。デザインテーマは「日本海と北アルプスに抱かれた、雄大な自然を感じさせる駅」です。

新幹線糸魚川駅舎デザイン案については、昨年10月に北陸新幹線の整備を担当する鉄道・運輸機構鉄道建設本部北陸新幹線第二建設局から、市にA・B・Cの3案（「広報いといがわ」昨年11月号に掲載）が示され、その中から1つの案を選定し推薦するよう依頼がありました。

市は、デザイン案を選定するにあたり、広く市民の皆さんの意見を反映させるため、市内各種団体の代表の方や、おしらせ等で公募した委員の方などで構成する「糸魚川市新幹線駅舎デザイン検討委員会」（委員長 中出文平長岡技術科学大学教授）を設置しました。委員会では、糸魚川らしさの表現、周辺施設や街並みとの調和など、活発な議論・検討が行われました。その結果、「C案」（上図）が「明るさ」「斬新さ」「山なみの表現」などの点で良い評価を受け、1月17日開催の第3回委員会において選定され、また、あわせて付帯意見や要望が出されました。



米田市長から新幹線駅舎デザイン案の推薦の報告を受ける鉄道・運輸機構 齋藤浩司北陸新幹線第二建設局長（1月28日市役所）

新幹線糸魚川駅のデザイン案の推薦とともに
鉄道・運輸機構に提出した付帯意見および要望事項

■付帯意見

- (1) 緑のヒスイを示しているところについて、ヒスイらしさを感じられるような色と大きさにして欲しい。
- (2) 駅両側につながる、こげ茶色の太いラインについて、ボリュームが多く重さを感じるので、軽く感じるようにして欲しい。
- (3) ガラス面を大きくし、透明感が感じられるようにして欲しい。
- (4) フォッサマグナのイメージを、より明確に表現して欲しい。

■要望事項

- (1) 駅舎デザインに照明効果の考えを取り入れ、照明によりヒスイを浮き出させるなどの工夫と、部分的に薄緑色のガラスやまがたまのデザインを使用すること等で、ヒスイなどの糸魚川らしさを表現して欲しい。
- (2) 内部空間を工夫して糸魚川らしさを感じられるようにして欲しい。
- (3) 市が南口駅前広場で整備する予定の赤レンガ3連アーチ及び駅舎1階の利用計画との調和に配慮して欲しい。

市では、このデザイン検討委員会の検討結果を1月18日に開催された市議会港湾交通対策特別委員会に報告し、意見を聞いたうえで、デザイン案の選定と付帯意見・要望を取りまとめました。

1月28日、市役所を訪れた鉄道・運輸機構齋藤浩司北陸新幹線第二建設局長に、付帯意見・要望（左表）を付し「C案」を推薦しました。齋藤局長は、市の推薦デザイン案により駅舎整備を進める考えを示すとともに、付帯意見・要望については「取り入れられるか検討したい」と話していました。

問合せ先 都市整備課 新幹線推進係 ☎ 552-1511